

中小企業AI導入実態調査（2025年8月）

分析レポート

※本レポートは皆様の貴重なご回答を基に作成した、他では得られない価値ある情報です。
データの解釈には一定の制約がありますが、組織の意思決定と行動の参考情報としてお役立てください。



調査概要

- ・調査期間 : 2025年7月11日～2025年7月31日
- ・調査方法 : Webアンケート（メルマガ配信、対面案内等）
- ・有効回答数 : 111社
- ・主な対象 : 静岡県を中心とした中小企（従業員5～300名程度）の経営者・役員・管理職・担当者
- ・回答者の地域分布: 静岡県が約70%を占め、その他の地域が約30%
- ・分析実施 : 株式会社サンロフト DX事業部

はじめに - 心からの感謝を込めて

この度は、お忙しい中貴重なお時間をいただき、「中小企業AI導入実態調査」にご協力いただき誠にありがとうございました。111社もの皆様から頂戴した貴重なデータを基に、他では得られない価値ある情報をお返しさせていただきます。

このレポートは、皆様の率直なご回答から見えてきた「中小企業におけるAI導入・活用の実態と成功への道筋」をまとめたものです。AI導入の判断材料や、すでに導入されている企業様の次のステップの検討にお役立てください。

本調査は静岡県を中心とした限られた地域の企業を対象としており、全国の中小企業の状況を完全に代表するものではありません。

また、質問によって有効回答数が異なる場合があります。特に細かいセグメント分析では、少数サンプルに基づく結果もあるため、参考情報としてご活用ください。

エグゼクティブサマリー

テクノロジーを親しみやすく
SUNLOFT
明るく夢のある情報化社会の実現

🎯 調査結果のハイライト

● 導入済み企業は42%、96%以上が何らかの関心あり

回答企業の42.3%（47社／111社）がすでにAIを導入済み、約23%が検討中、約30%が関心ありと回答。AIへの関心は業種を問わず高い状況です。

● 導入効果は概ね良好

AI導入済み企業で効果を回答した企業（34社）のうち、94.1%が「期待通り」または「期待以上」の効果を実感。特に「業務時間短縮」「新しいアイデア創出」「作業精度向上」の効果が多く報告されています。

● 生成AIが中心的なツール

導入されているAIツールは「生成AI（ChatGPT等）」が最も多く、導入済み企業の約94%が利用。次いで「議事録作成」「データ分析・レポート自動生成」が続きます。

● 主な導入障壁は「効果不明確」「専門知識不足」

未導入企業の主な躊躇理由は「効果が不明確」（約45%）、「専門知識・人材不足」（約48%）、「セキュリティへの懸念」（約36%）です。

エグゼクティブサマリー

テクノロジーを親しみやすく
SUNLOFT
明るく夢のある情報化社会の実現

💡 今回の調査で明らかになったこと

本調査により、中小企業におけるAI導入はすでに一部の企業で進みつつあり、特に生成AIを中心とした比較的導入しやすいツールが活用されていることが分かりました。導入企業の多くは効果を実感していますが、未導入企業にとっては効果の不確実性や専門知識の不足が主な障壁となっています。

👉 AI導入検討を始める理由

競合企業の3社に1社程度がすでにAIを導入し始めている現状を考えると、AI活用は中小企業にとっても徐々に一般的になります。特に人手不足が課題となる中、業務効率化のツールとしてのAI活用は検討の価値があります。本レポートで示すように、小規模な投資から始められる効果的なアプローチも存在します。

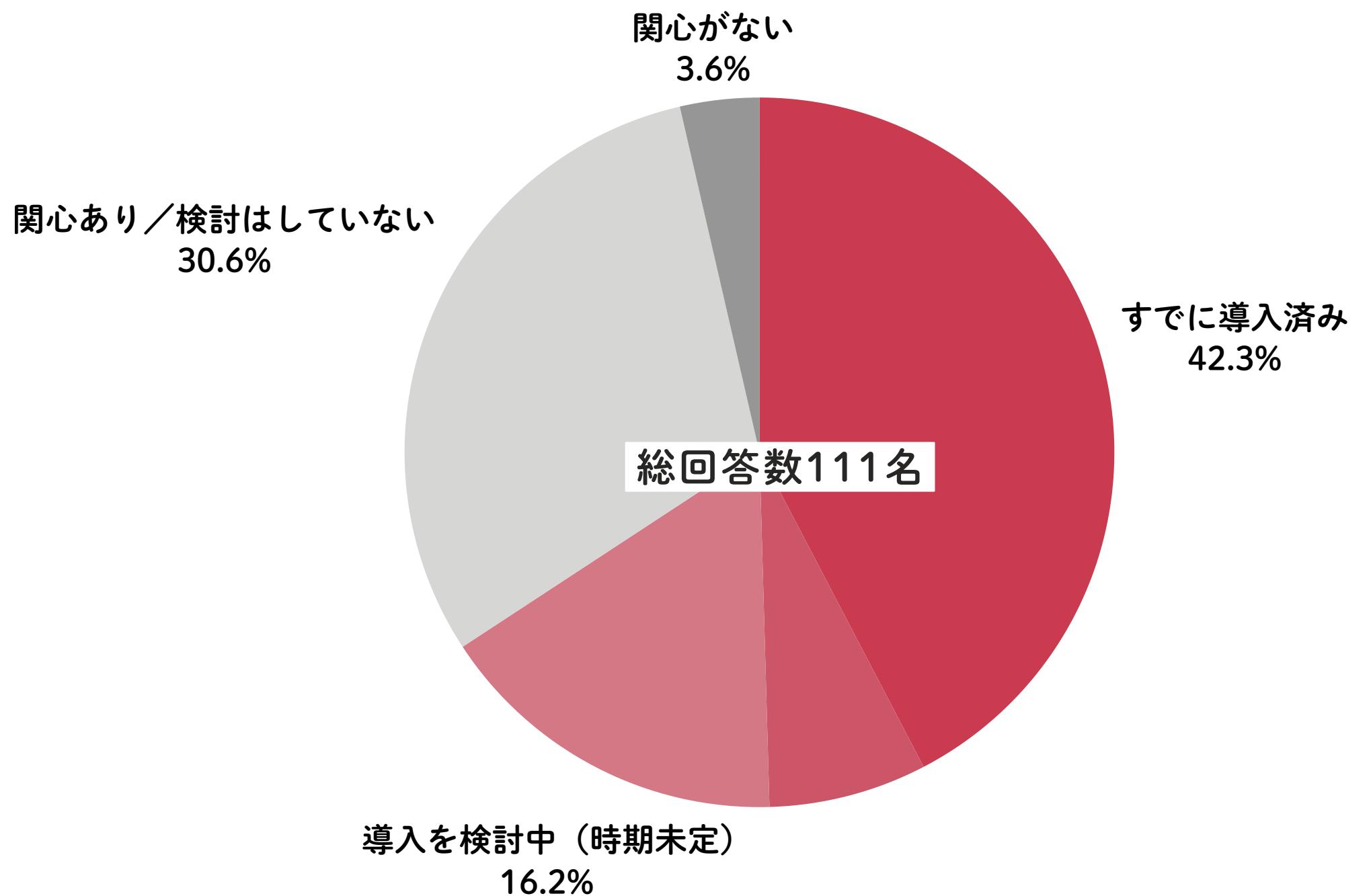
第1章：中小企業のAI導入・活用状況





AI導入状況の全体像

AI導入状況の内訳 (n=111)



💡 この数値が意味すること

回答企業の1/3以上がすでにAIを導入済みであり、
検討中も含めると半数を超えていいます。



業種・規模別の導入状況

業種別のAI導入状況（主要業種のみ）

業種	調査企業数	導入済み企業数	導入率
情報通信業	14社	12社	85.71%
製造業	24社	9社	37.50%
建設業	12社	5社	41.67%
サービス業	15社	5社	33.33%
卸売・小売業	9社	5社	55.56%
金融・保険業	6社	2社	33.33%

分析のポイント

情報通信業での導入が進んでいる一方、製造業や金融・保険業・サービス業では相対的に導入率が低い傾向にあります。

企業規模別のAI導入状況

企業規模	調査企業数	導入済み企業数	導入率
5人以下	12社	6社	50.00%
6-20人	23社	13社	56.50%
21-50人	17社	3社	17.60%
51-100人	18社	10社	55.60%
101-300人	24社	11社	45.80%
301人以上	17社	4社	23.50%

企業規模別では、6-20人の小規模企業で最も高い導入率（56.5%）となっています。21-50人（17.6%）と301人以上（23.5%）では導入率が低く、企業規模と導入率に明確な相関関係は見られません。5人以下でも50%の導入率があり、幅広い規模でAI活用が進んでいます。

🔍 導入されているAIツール・システムの種類

導入済みAIツールの種類（複数回答、n=47）

AIツールの種類	導入企業数	導入率
生成AI（ChatGPT、Claude、Copilot等）	45社	95.70%
議事録作成	22社	46.80%
データ分析・レポート自動生成	14社	29.80%
マーケティング・SNS・広告最適化	11社	23.40%
画像・動画処理	8社	17.00%
翻訳・多言語対応	8社	17.00%
チャットボット（顧客対応）	5社	10.60%
会計・経理システムのAI機能	4社	8.50%
人事・採用支援	2社	4.30%

💡 注目すべき傾向

導入のハードルが比較的低い生成AIが圧倒的に多く、特定業務の効率化に焦点を当てたツールが続いている。

これは、中小企業が「小さく始めて効果を確認する」アプローチを取っている可能性を示唆しています。



第1章：中小企業のAI導入・活用状況のまとめ

💡 この分析結果が意味すること

- AI導入は一部企業で進行中：回答企業の約3分の1がすでに導入しており、多くの企業が関心を持っています。
- 業種による差はあるが、規模による制約は少ない：小規模企業でもAIを活用している事例があります。
- 生成AIが「入門ツール」となっている：初期投資が少なく導入しやすい生成AIが、中小企業のAI活用の入り口となっている傾向があります。

🎯 あなたの組織への示唆

- 製造業の方へ：同業種の約37%がすでにAIを導入しています。
競合他社との差別化のためにも、少なくとも検討を始めることが有益かもしれません。
- IT担当者がいない組織の方へ：IT担当者がいない企業でもAIを導入している事例があります。
特に生成AIは専門知識がなくても活用できるツールが多いため、小規模な試行から始めることが可能です。
- AI導入を躊躇している方へ：初期費用を抑えた導入方法も存在します。
効果が明確な特定業務から試してみることを検討してみてはいかがでしょうか。

✓ データに基づく推奨アクション

- 生成AI（ChatGPT等）の無料プランでの試行
- 単一の業務プロセス（議事録作成等）での小規模試行
- 同業種企業のAI活用事例の収集

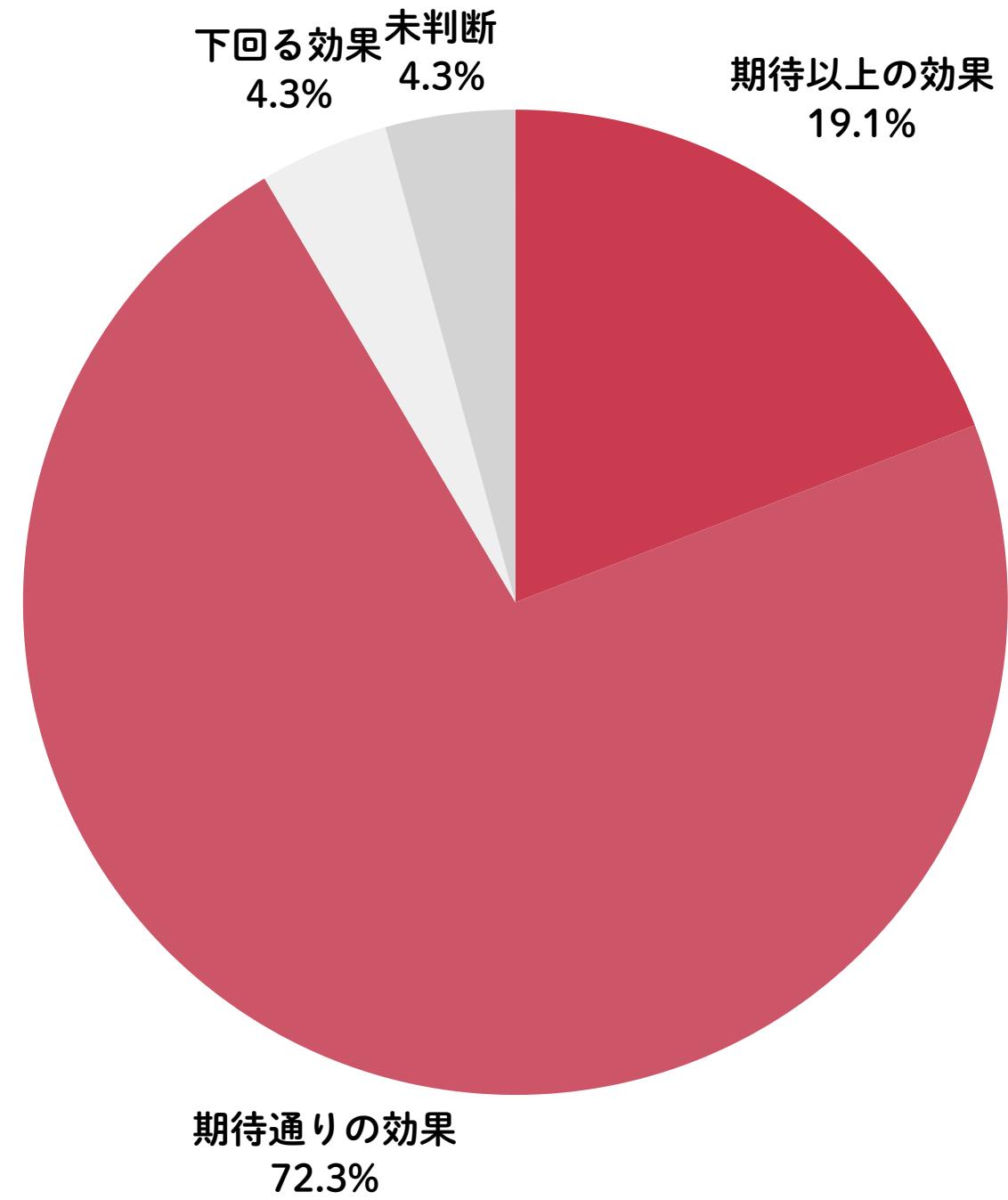
第2章：AI導入の効果と成功企業の特徴





AI導入効果の実態

効果実感度の分布



具体的に実感している効果（複数回答）

実感している効果	回答数	回答率
業務時間の短縮	29社	64.44%
作業精度の向上	25社	55.56%
新しいアイデア・発想の創出	22社	48.89%
人的コストの削減	17社	37.78%
顧客満足度の向上	8社	17.78%
従業員の満足度向上	6社	13.33%
売上・利益の向上	3社	6.67%

分析のポイント

大多数が何らかの効果を実感しており、特に業務時間短縮・作業精度の向上・新しいアイデア創出の効果が高く報告されています。



効果に関する要因の分析

経営層のAI理解度と効果の関係

経営層のAI理解度	導入済み企業数	「期待通り」または「期待以上」と回答	割合
「十分理解している」または「基本的知識がある」	39社	36社	95.50%
「あまり/全く理解していない」	10社	8社	50.00%

相関関係の示唆

経営層のAI理解度とAI導入方針は、いずれも効果実感と関連している可能性があります。データから見ると、**経営層がAIについて理解している企業や、積極的な導入方針を持つ企業では、AI導入による効果をより実感している傾向が見られます。**

ただし、これはあくまで相関関係であり、因果関係を示すものではありません。

AI導入・利用方針と効果の関係

AI導入・利用方針	導入済み企業数	「期待通り」または「期待以上」と回答	割合
積極的に導入・活用を推進	27社	27社	100.00%
慎重に検討しながら段階的に導入	15社	11社	73.30%
その他の方針	5社	5社	100.00%



第2章：AI導入の効果と成功企業の特徴のまとめ

💡 この分析結果が意味すること

- ・導入企業は概ね効果を実感: 回答のあった導入企業の多くが、何らかの効果を実感しています。
- ・経営層の理解と組織的推進が重要: 経営層のAI理解と組織としての推進姿勢が、効果実感と関連している可能性があります。
- ・業務効率化が主要効果: 特に業務時間短縮効果が最も顕著であり、人的コスト削減や作業精度向上も実感されています。

🎯 あなたの組織への示唆

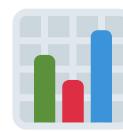
- ・経営者・役員の方へ: AIに関する基本的な理解を持つことが、組織全体の成功確率を高める可能性があります。
- ・導入を検討中の方へ: 小さく始めて徐々に拡大するアプローチが効果的かもしれません。
まずは業務時間短縮効果が期待できる領域から始め、成功体験を組織内で共有することを検討してみてください。
- ・すでに導入済みの方へ: 現在の活用領域から、関連する他の領域への展開を検討することで、さらなる効果が期待できる可能性があります。

✓ データに基づく推奨アクション

- ・経営層向けAI基礎理解セッションの実施
- ・効果測定可能な特定業務でのAI試行と効果の見える化
- ・成功事例の社内共有の仕組み作り

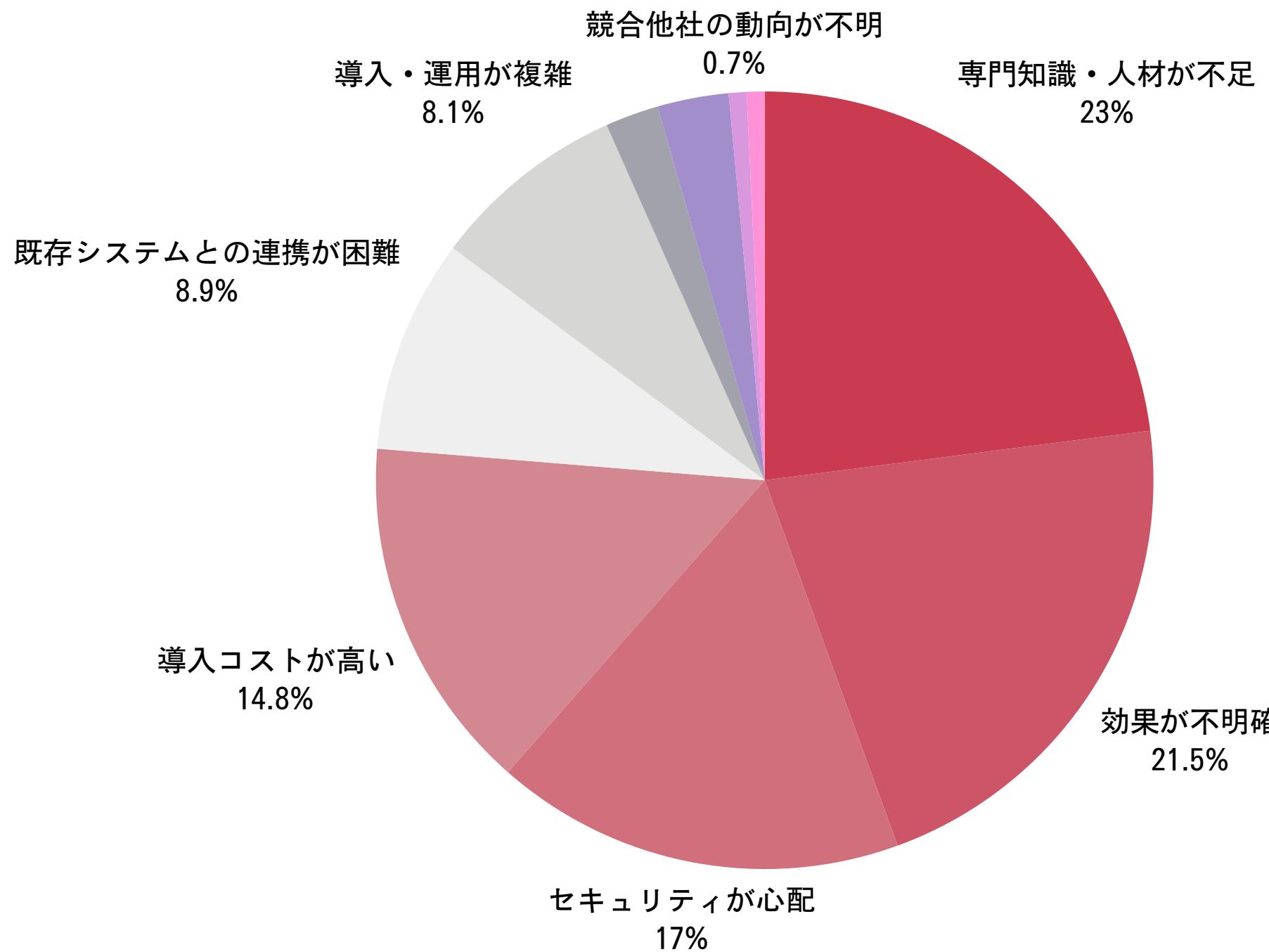
第3章：AI導入の障壁と対策事例





AI導入躊躇理由の分析

未導入企業の主な躊躇理由 (n=64)



分析のポイント

躊躇理由は「専門知識・人材の不足」(23%)と「効果の不明確さ」(21.5%)が最も多く、次いで「セキュリティへの懸念」(17%)、「導入コストの高さ」(14.8%)が続きます。

これらの結果は、**AI導入における技術的・知識的なハードル**と、**投資対効果の不確実性**が主要な障壁となっていることを示唆しています。



AI導入躊躇理由の分析

AI導入時の主要懸念事項（複数回答、全回答者n=111）

懸念事項	回答数	回答企業の割合
機密情報・個人情報の漏洩	76社	68.50%
アウトプット情報の正確性・信頼性	68社	61.30%
導入・運用コスト	55社	49.50%
著作権・ライセンスの問題	46社	41.40%
既存システムとの連携	32社	28.80%
法的責任・コンプライアンス	32社	28.80%
AIへの過度な依存リスク	23社	20.70%
従業員のスキル格差拡大	20社	18.00%

※複数回答可のため、合計は100%を超えます。
各割合は回答企業111社に対する比率を示しています。

④ 導入済み企業が行った障壁克服の取り組み

【導入済み企業の対策事例】（自由記述回答から抽出）

1. 効果不安への対策

- 小規模な試行からスタート
- 具体的な効果指標の設定
- 外部事例の収集と社内共有

2. 技術障壁への対策

- 使いやすいツールから開始
- 外部セミナーへの参加
- 社内勉強会の実施

3. セキュリティ懸念への対策

- 明確な利用ガイドラインの策定
- 機密情報投入禁止のルール化
- 定期的な教育・研修の実施



第3章：AI導入の障壁と対策事例のまとめ

💡 この分析結果が意味すること

- **主要障壁は「心理的・知識的」なもの：**
技術的・コスト的障壁よりも、**効果への不確実性や専門知識不足という心理的・知識的障壁が大きい**ようです。
- **懸念事項は業種により異なる：**業種特性に応じた異なる懸念があり、対策も業種ごとに調整する必要があります。
- **段階的アプローチが有効：**導入済み企業の多くは、小さく始めて徐々に拡大するアプローチを取っています。

🎯 あなたの組織への示唆

- 「効果が不明確」と感じている方へ：**小規模な実証実験と明確な効果指標の設定が効果的**かもしれません。
短期間の試行でも、効果の兆候は見えてくる可能性があります。
- 「専門知識不足」に悩む方へ：専門知識がなくても使いやすいツールが増えています。
また、外部セミナーや簡易的な勉強会の活用も検討してみてください。
- 「セキュリティ懸念」がある方へ：**明確なガイドライン設定と教育で多くのリスクは軽減できます。**
特に「**入力してはいけない情報**」の明確化が重要です。

✓ データに基づく推奨アクション

- 1～2週間の小規模実証実験の実施
- AIツール活用の簡易ガイドライン作成
- 社内勉強会または外部セミナーへの参加

第4章：規模別・業種のAI活用実態





企業規模別のAI活用特性

企業規模	導入済み企業数	主要活用ツール	特徴的活用法	投資規模
小規模企業 (5-20人)	n=19 (導入率53%)	<ul style="list-style-type: none">生成AI(18社)議事録作成(8社)データ分析・レポート自動生成(6社)	少人数で多業務を担当する環境での業務効率化とコミュニケーション改善	比較的少額の投資 (10万円未満が多い)
中規模企業 (21-100人)	n=13 (導入率45%)	<ul style="list-style-type: none">生成AI(12社)議事録作成(6社)マーケティング・SNS・広告最適化(4社)	部門横断的な情報共有とマーケティング活動の効率化	小～中規模の投資 (予算確保なしが多い)
大規模中小企業 (101人以上)	n=15 (導入率38%)	<ul style="list-style-type: none">生成AI(15社)議事録作成(8社)データ分析・レポート自動生成(5社)	全社的なデジタル変革の一環としての体系的導入と国際化対応	中規模の投資 (検討中が多い)



業種別の特徴的なAI活用パターン

業種	主要活用領域	特徴的効果	導入障壁
製造業	<ul style="list-style-type: none">・ 営業・マーケティング・ 製造・生産管理・ 品質管理・検査	業務時間短縮 作業精度の向上	既存システムとの連携
情報通信業	<ul style="list-style-type: none">・ 営業・マーケティング・ 研究・開発・ 顧客サービス・サポート	業務時間短縮 新しいアイデア創出	著作権・ライセンス問題
サービス業	<ul style="list-style-type: none">・ 顧客サービス・サポート・ 営業・マーケティング・ 経理・財務	顧客満足度向上 業務時間短縮	効果の不明確さ
建設業 ※参考情報	<ul style="list-style-type: none">・ 営業・マーケティング・ 在庫・物流管理・ 品質管理・検査	業務時間短縮 作業精度の向上	導入コスト
卸売・小売業	<ul style="list-style-type: none">・ 営業・マーケティング・ 経理・財務・ 在庫・物流管理	新しいアイデア創出 効果測定中	効果の不明確さ
金融・保険業 ※参考情報	<ul style="list-style-type: none">・ 顧客サービス・サポート・ 営業・マーケティング	作業精度の向上 人的コスト削減	効果の不明確さ 導入・運用の複雑さ

🔍 効果が報告されている業種 ×

ツールの組み合わせ

【効果が報告されている主な組み合わせ】

(自由記述回答から抽出)

① 情報通信業 × 生成AI:

プログラミング効率化、アイデア創出

② 製造業 × 画像処理AI:

品質検査の精度向上

③ サービス業 × マーケティング最適化:
顧客対応の質向上

④ 小売業 × データ分析:

販売予測・在庫管理の効率化

⑤ 建設業 × 議事録作成:

会議・打ち合わせの効率化



第4章：規模別・業種のAI活用実態のまとめ

💡 この分析結果が意味すること

- ・業種特性に合わせたAI活用が見られる: 業種ごとの特性に合わせて、異なるAI活用方法が模索されています。
- ・規模に応じた導入アプローチの違い: 企業規模によって、投資規模や活用アプローチに違いがあります。
- ・特定の組み合わせで効果が報告: 業種とAIツールの特定の組み合わせで、効果が報告されています。

🎯 あなたの組織への示唆

- ・製造業の方へ: 品質管理・検査領域でのAI活用が報告されています。
 画像処理AIの導入を検討してみる価値があるかもしれません。
- ・サービス業の方へ: 顧客対応とマーケティング領域でのAI活用から始めることで、効果が期待できる可能性があります。
- ・小規模企業の方へ: 経営者自身が理解して推進する体制が効果的かもしれません。
 比較的少額の投資から始めることができる可能性があります。

✓ データに基づく推奨アクション

- ・自社の業種で効果が報告されているAIツールの試験導入
- ・同業種企業のAI活用事例の収集
- ・企業規模に応じた適切な投資規模と導入ステップの計画

第5章：AI導入・運用のコストと投資





AI導入投資の実態

AI導入予算の分布（導入済み・検討中企業、n=70）

AI導入のための予算	導入済み・検討中企業数	回答企業の割合
予算は確保していない	30社	42.90%
10万円未満	7社	10.00%
10-50万円	2社	2.90%
50-100万円	2社	2.90%
100-500万円	4社	5.70%
500万円-1000万円	1社	1.40%
1000万円以上	0社	0.00%
予算は未定だが検討中	24社	34.30%

注目ポイント

AI導入に取り組む企業の約77%（54社）が予算未設定または検討段階にあり、多くの企業がAI投資の具体的な規模感を掴めずにいる状況が浮き彫りになっています。

予算を明確に設定している企業（16社、23%）においても、その半数以上が50万円未満の小規模投資に留まっており、本格的なAI活用への移行には慎重な姿勢を示しています。



AI導入の実態と成功パターン

予算別AIツール導入数と効果（導入済み企業、n=47）

AI導入のための予算	導入済み	AIツール平均導入数	効果があった	効果があった企業割合
予算未確保・未定	35社	2.6個	32社	91.40%
10万円未満	7社	3.3個	7社	100.00%
10万円以上	5社	2.5個	4社	80.00%

注目ポイント

予算をかけるほど効果が下がる逆転現象が起きています。予算未確保の企業が91.4%の効果実感率なのに対し、10万円以上投資した企業は80%と最も低くなっています。

10万円未満の少額投資が最も成功しております、効果実感率100%を達成しています。

多額の投資よりも、手軽に始められるAIツールの方が中小企業には適している可能性があります。

この結果は「AI導入は高額投資が必要」という思い込みを覆し、まずは小さく始めることの重要性を示しています。



第5章：AI導入・運用のコストと投資のまとめ

💡 この分析結果が意味すること

- 予算規模よりも導入方法が成功の鍵：

高額投資ほど効果が下がる逆転現象が発生しており、AIツール選択と活用方法の重要性が浮き彫りになっています。

- 小さく始める戦略の有効性：

10万円未満の少額投資で100%の効果実感率を達成。まずは手軽なツールから始めるこの価値が証明されています。

- 予算設定の必要性への疑問：

予算未確保の企業でも91.4%が効果を実感しており、厳密な予算計画よりも積極的な試行が重要である可能性があります。

◎ あなたの組織への示唆

- 予算が限られている企業の方へ：予算確保を待つよりも、低コストのAIツールから始めて高い効果が期待できます。
- 投資を検討中の企業の方へ：高額投資を避け、複数の低コストツールを試す方が成功確率が高い可能性があります。
- 効果に不安がある企業の方へ：実際の導入企業の90%以上が効果を実感しており、適切なツール選択により高い成功率が期待できます。

✓ データに基づく推奨アクション

- 月額～3万円程度の低コストAIツールから試験導入
- 複数ツールの並行テストによる最適解の発見
- 予算確保を待たずに、まずは無料プランでの検証開始

第6章：AI導入・活用の成功要因





成功企業の組織的特徴

経営層のAI理解度と導入状況（全回答者）

経営層・管理職のAIに対する理解度	回答企業数	導入済み企業数	割合
十分に理解している	18社	14社	77.80%
ある程度理解している	21社	13社	61.90%
基本的な知識はある	28社	11社	39.30%
あまり理解していない	30社	7社	23.30%
全く理解していない	8社	2社	25.00%

注目ポイント

経営層の理解度が導入率を左右しており、「十分に理解している」企業では77.8%が導入済みなのに対し、「あまり理解していない」企業では23.3%に留まっています。

明確な方針の有無で圧倒的な差が生まれており、「積極的に推進」する企業の93.1%が導入済みである一方、「方針未策定」企業では12.1%しか導入していません。

AI導入成功の鍵は技術ではなく、経営層の理解と組織方針の明確化にあることが浮き彫りになっています。

AI導入・利用方針と導入状況（全回答者）

会社としてのAI導入・利用方針	回答企業数	導入済み企業数	割合
積極的に導入・活用を推進している	29社	27社	93.10%
慎重に検討しながら段階的に導入予定	30社	15社	50.00%
関心はあるが具体的な方針は未策定	33社	4社	12.10%
現時点では導入の予定なし	13社	1社	7.70%



効果的な推進体制とルール設計

AI導入の意思決定者（導入済み企業、n=47）

AI導入の意思決定者	導入済み企業数	割合
経営者・代表取締役	32社	68.10%
役員・取締役	9社	19.10%
IT部門・システム担当	2社	4.30%
各部門の責任者	3社	6.40%
まだ決まっていない	1社	2.10%

社内AIルール策定状況（導入済み企業、n=47）

社内でのAI利用ルール策定状況	導入済み企業数	割合
すでにルール・ガイドラインを策定済み	11社	23.40%
現在策定中	7社	14.90%
策定を検討中	20社	42.60%
策定する予定はない	7社	14.90%
必要性を感じていない	2社	4.30%

従業員の利用スタンス（導入済み企業、n=47）

従業員のAI利用に対する会社のスタンス	導入済み企業数	割合
業務での積極的な利用を推奨	26社	55.30%
ルールを設けて限定的に利用許可	15社	31.90%
個人的な学習目的のみ利用許可	6社	12.80%

🔍 成功企業の組織的取り組み

経営者主導が成功の基本パターンとなっており、IT部門任せではなく、**トップダウンでの推進が効果的**です。成功企業は従業員の活用を後押ししています。

ルール策定は進行中が多数で、**約8割の企業が何らかの形でルール整備に取り組んでいます**。



第6章：AI導入・活用の成功要因のまとめ

💡 この分析結果が意味すること

- ・経営層の理解と明確な方針が導入成功を決定しており、技術的な準備よりも組織のトップのコミットメントが重要であることが明確になっています。
- ・経営者主導の意思決定が最も効果的で、IT部門任せではなくトップダウンでの推進が成功パターンとなっています。
- ・ルール整備と積極活用の両立が重要で、約8割の成功企業がガイドライン策定に取り組みながら、過半数が従業員の積極利用を推奨しています。

🎯 あなたの組織への示唆

- ・経営層が理解不足の組織：まずは経営陣のAI理解促進から始め、明確な導入方針の策定が最優先です。
- ・IT部門主導で進めている組織：経営者レベルでの意思決定体制に切り替えることで成功確率が向上します。
- ・ルールが未整備の組織：積極活用を推奨しつつ、適切なガイドライン策定を並行して進めることが効果的です。

✓ データに基づく推奨アクション

- ・経営者・経営陣向けのAI理解促進研修の実施
- ・明確なAI導入・活用方針の策定と社内共有
- ・経営者主導の意思決定体制の構築とルール策定の同時進行

第7章：中小企業AI活用の展望と課題





中小企業AI活用の現状と今後

テクノロジーを親しみやすく
SUNLOFT
明るく夢のある情報化社会の実現

現在のAI活用状況の特徴

調査結果から、中小企業のAI活用は転換点を迎えていることが明らかになりました。42.3%の企業が既に導入済みであり、生成AIを中心とした比較的導入しやすいツールが主流となっています。特に注目すべきは、企業規模に関わらず導入が進んでいる点で、5人以下の小規模企業でも50%の導入率を示しています。

今後の展望

AI活用は「特別な技術」から「日常的なツール」へと変化しつつあります。導入済み企業の90%以上が効果を実感している現状を考えると、今後2-3年で導入率は大幅に向上する可能性があります。特に生成AIの普及により、専門知識がなくても活用できる環境が整ってきており、中小企業にとってのAI導入の敷居は急速に下がっています。



今後の課題と対応の方向性

今後予想される課題

1. 知識・スキル格差の拡大：AI活用企業と未活用企業の競争力格差が広がる可能性
2. セキュリティリスクの増大：68.5%が懸念する機密情報漏洩リスクへの対応
3. 過度な依存による業務能力の低下：AIに頼りすぎることによる従業員スキルの停滞

効果的な対応の方向性

調査結果に基づく対応策として、「経営層のAI理解促進」「明確なガイドライン策定」「段階的導入アプローチ」の3つが重要です。特に、予算確保を待たずに低コストツールから始める戦略が、77%の企業で効果を実感している事実は、リスクを最小限に抑えた導入の重要性を示しています。



未導入企業への提言

競合の約4割が既に導入している現状を踏まえ、「効果の不確実性」や「専門知識不足」を理由に導入を躊躇することのリスクが高まっています。まずは無料・低コストプランでの小規模試行から始め、効果を確認しながら段階的に拡大することが推奨されます。

導入済み企業への提言

現在の活用領域から関連分野への横展開を検討し、組織全体でのAI活用文化の醸成が次のステップとなります。また、適切なガイドライン策定により、セキュリティリスクを管理しながら積極的な活用を推進することが重要です。

経営層への提言

AI導入成功の最重要要素は「経営層の理解と明確な方針」であることが調査で明確になりました。技術的な詳細よりも、AI活用の目的と方向性を明確にし、組織全体でのコミットメントを示すことが成功の鍵となります。

調査結果からの主要なメッセージ

中小企業においてAI活用はすでに進みつつあり、特に生成AIを中心としたツールが広く活用されています。導入企業の多くは効果を実感しており、特に業務効率化や時間短縮の効果が報告されています。一方で、未導入企業にとっては効果の不確実性や専門知識の不足が主な障壁となっています。「小さく始めて段階的に拡大する」アプローチにより、限られた予算と人材でも効果的に導入を進めている事例が見られます。

適切なアプローチで成功確率を高められます

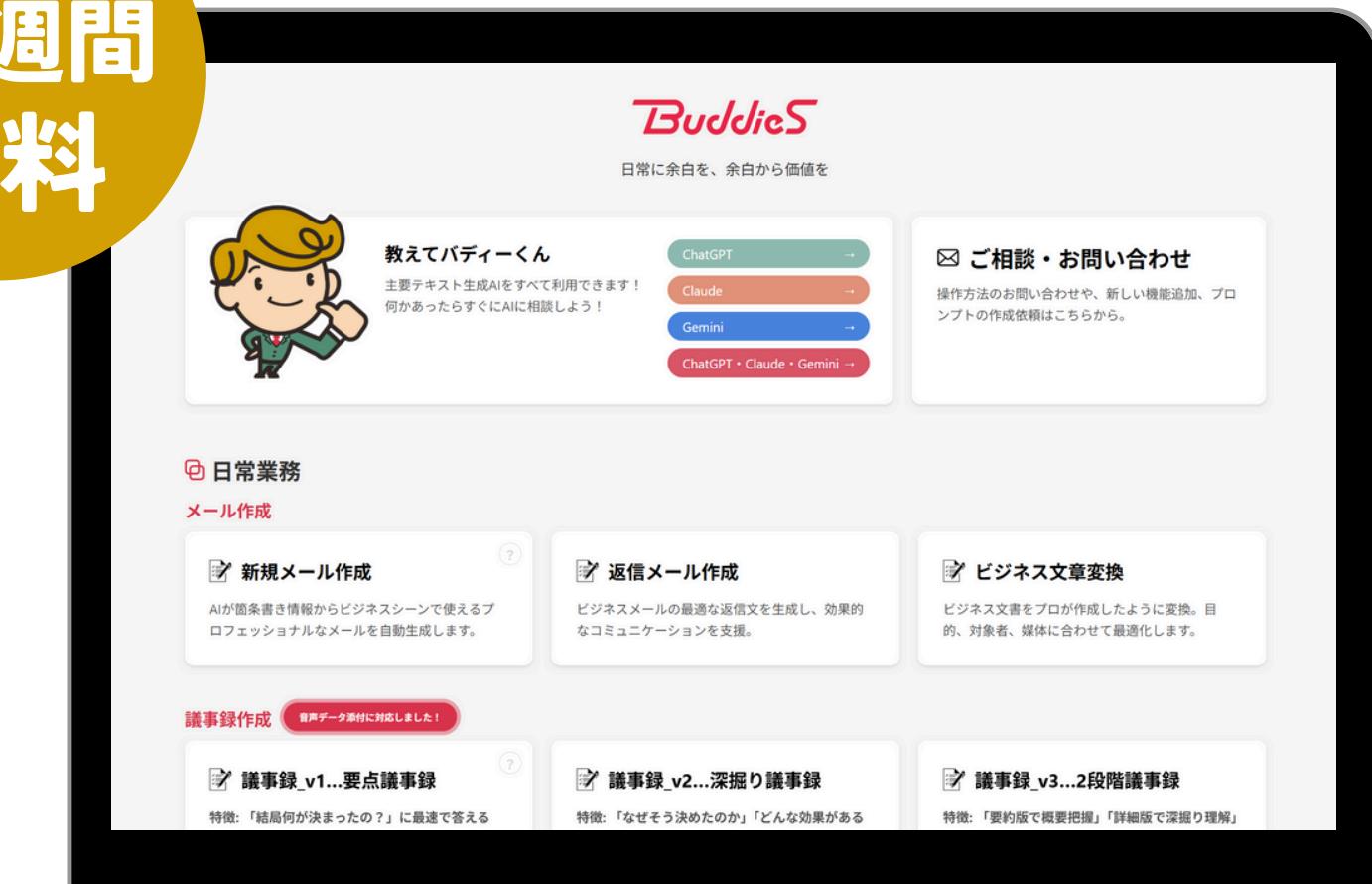
本調査結果から、AI導入の成功は企業規模や多額の投資、専門人材の存在に必ずしも依存するものではないことが示唆されています。経営層の理解と明確な方針、適切なツール選定と段階的アプローチ、そして組織的な知識共有が重要な要素となっています。特に生成AI（ChatGPT等）を入り口とした小規模な試行から始めることで、リスクを最小限に抑えながら成果を積み上げることが可能です。

繙続的なサポートのお約束

BuddieSでは、本調査結果を踏まえ、中小企業の皆様のAI導入・活用をサポートするための様々な取り組みを行っています。導入ガイダンス、業種別活用事例の提供、個別相談など、皆様の状況に応じたサポートをご用意しております。AI導入の不安や疑問と一緒に解決し、貴社の競争力向上をお手伝いさせていただきます。

中小企業のAI活用を身近にする 次世代プラットフォーム

**トライアル
2週間
無料**



AI業務支援サービス

Buddies

日常に余白を、余白から価値を



バディー・ク

生成AIで毎日が楽になる！

仕事効率アップ



日常業務	議事録作成	作成時間 1時間 ▶ 3分
	音声・文字起こしデータから完璧な議事録を自動作成	校正時間 15分 ▶ 1分
マーケティング業務	文書作成・校正	メール作成時間 10分 ▶ 1分
	文章を読みやすく文章構成！修正内容も分かりやすく解説	新規メール・メール返信作成
分析・品質管理業務	提案資料・企画書作成	ブログ作成時間 6時間 ▶ 20分
	AIとの会話で提案資料を作成	SNS投稿作成時間 15分 ▶ 1分
分析・品質管理業務	SNS運用支援	資料作成時間 6時間 ▶ 1分
	投稿アイディア、文章、コメント返信のアイディアを作成	ブロガ・コラム記事生成
分析・品質管理業務	契約書・リスク診断	契約書調整時間 6時間 ▶ 20分
	法令違反やリスクを特定して改善提案	分析時間 3時間 ▶ 1分
分析・品質管理業務	分析・フレームワーク	マニュアル作成時間 3時間 ▶ 1分
	SNS・アクセス分析や3C・SWOT分析などに対応	業務マニュアル
	断片的なメモから実務向けのマニュアルを作成	

2週間無料のトライアル
丁寧なデモ依頼はこちら！

バディーズ AI



<https://ai-buddies.jp/>

☞ お困りの際はお気軽にご相談ください

AI導入に関するご質問やご相談は、いつでもサンロフトまでお気軽に問い合わせください。
貴社の状況に合わせた具体的なアドバイスをご提供いたします。

株式会社サンロフト DX事業部
〒425-0074 静岡県焼津市 柳新屋436-1
Tel : 054-626-3366 / Fax : 054-626-3371